

脱炭素・経費削減

将来を見据えて

今

だから
こそ、

丸喜齋藤組は持続可能な
社会づくりを応援します！

エネルギー転換。

たどり着きたい

未来を考える。

お申し込み・お問い合わせは…

丸喜 株式会社 齋藤組

〒030-0822 青森市中央2-2-12

tel. 017-777-3329 / fax. 017-723-1796

eMail : aomori@marukisaito.com

https://www.marukisaito.com

丸喜齋藤組



自家発電☀
自家消費型
システムのご提案

喜

できるひとがいる、挑むひとがいる

丸喜 株式会社 齋藤組

つくる。減らす。使う。

これからは太陽光発電で、電気をつくる、買う電気を減らす、自家発電自家消費の時代。そのメリットとは—

自家発電自家消費型太陽光発電とは

建物の屋根などに太陽光発電システムを設置し、自家発電することで、生活する電気や事業用の電気をまかない、脱炭素・電気料金削減に寄与します。

発電量をすべて自家消費することで系統の制約なく、太陽光発電の設置が可能となります。

自家発電自家消費型太陽光発電のメリット

1 経済性
電気料金の削減

2 自給自足
非常用電源も自分でつくる

3 企業の利益アップ
環境への取組みが収益に直結

4 企業の価値アップ
環境適合が企業競争力を向上

1 経済性

電気料金の削減

電気は「買う」時代から、自分で「つくる」時代へ

震災前の2010年度と2014年度を比較すると、電気料金は家庭向け、産業向けでそれぞれ25%増・38%増と大きく上昇。その後、2016年度以降の原油価格の再上昇、また国内での再エネ賦課金単価の上昇も重なって2017年度には再び電気料金が上昇に転じました。また、化石燃料への増税等も予想されるため、電気を化石燃料に大きく依存している日本では更に**電気料金の上昇が予想**されます。

一方で、FIT（固定価格買取制度）も売電単価の引下げと電気料金の高騰により、2019年以降は電気料金が売電単価を上回り、2020年度以降になると低圧（10～50kW）の**FITの全量買取ができなくなり**、さらに「30%以上を自家消費にする」「地域の非常用電源として活用できる」などの条件が付くことになりました。以前は電力会社に電気を売ることが主流でしたが**自家消費で電気を使う（＝電気料金削減）方が利益が大きく**、低圧の全量買取もできなくなった為、「自家消費型太陽光発電」への注目が加速することになりました。

自家発電自家消費型太陽光発電を導入した場合

- ①化石燃料高騰による「コスト増加へのリスクを抑える」ことができる。
- ②自家消費で電気を使うため、購入する「**電気料金**」が削減される。

自給自足 2

非常用電源としてのBCP対策

災害時、停電時に自分でつくる非常用電源

「BCP対策」とは「緊急事態における事業継続のための対策」のことを指します。

2018年頃までは、災害時の停電期間はおよそ「1週間」との見通しを立てるのが一般的でしたが、近年の台風や豪雨での停電期間を見るとおよそ「2～3週間」に及ぶケースも出てきています。

長期間、経済活動が停止してしまうのを避けるためにも電源の確保は重要な課題となります。しかし、災害時の電源確保において、**電力会社からの送電が止まった場合にも**太陽光発電があれば電力を得ることができます。そして、天候に左右されることのある太陽光発電も蓄電池と併用することでその心配もなくなります。

自家発電自家消費型太陽光発電を導入した場合

電気は自分でつくる自給自足。

たとえ災害時に電力会社からの送電が止まった場合でも、電力を得ることができます。また、蓄電池との併用で天候にも左右されません。

3 企業の「収益」↑

環境への取組みが収益に直結

消費電力を再生エネルギー100%に！

日本は利用エネルギーの85.5%を海外から輸入される「石油・石炭・天然ガス(LNG)」などの化石燃料に依存しています。また、さまざまな環境問題が問題となっている中、世界的にもCO2削減や低炭素社会(脱炭素社会)への動きが高まっています。そして、低炭素社会に向けて、国連で定められた「SDGs(持続可能な開発目標)」の他、「RE100(再エネ100%イニシアチブ)」「RE Action」「J-クレジット制度」などさまざまな取組みや制度がはじまっています。

そして、日本でも環境問題に取り組むことは、CSR(社会的責任)や企業イメージの向上だけでなく、短期的な「企業の収益」に直結するように変化してきています。



2021年8月導入予定イメージ
(有限会社ゴールド農園様/弘前市)

自家発電自家消費型太陽光発電を導入した場合

環境問題へ取り組むことで、「企業イメージをよくする」だけでなく、①電気料金が削減でき、②化石燃料高騰によるコスト増加へのリスクを抑えられ、さらに③「CO2の削減量」を販売して企業の利益に変えることもできます(J-クレジット制度)。

4 企業の「価値」↑

環境適合が企業競争力を向上

税制優遇や補助金を受けることができる

CO2削減や低炭素社会(脱炭素社会)に向けて、企業の再エネ導入におけるメリットからさまざまな取り組みが加速しています。RE100は参加することで、「ESG投資」(環境問題に配慮している企業を重視して行われる投資)で高い評価を受けることができるようになります。そして、RE100に参加している大企業の中には、取引先にも再生可能エネルギー導入を求める企業もあり、世界各国の目標から大企業、そしてその取引先としての一般企業へと、再エネ導入の重要性が高まっています。

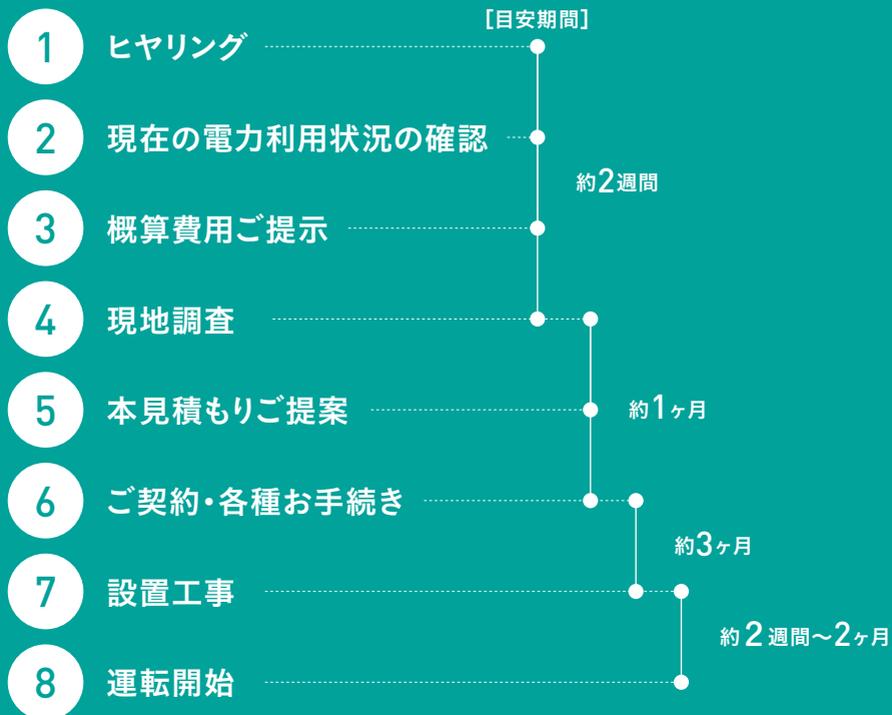
再エネの導入は環境問題に取り組む大手企業との取引を可能にするため、企業競争力を高めることに繋がります。

自家発電自家消費型太陽光発電を導入した場合

向上するのは「企業の利益」+「企業の価値」。「ESG投資」で高い評価を受けることができるなど投資などを受ける際にも重要な指標となってきています。その他、国からの税制優遇(中小企業経営強化税制)や、国や地方自治体から太陽光発電導入の際のさまざまな補助金の提供を受けることができます。

ご検討の流れ

お申込みから運転開始まで



保険補償

安心して導入していただくために保険にご加入下さい

メーカーで保証される製品保証と出力保証の他に、自然災害補償と設備補償、盗難舗装等が標準で備わっている保険にご加入していただくことで、あらゆるリスクに備えます。

- 1 火災、落雷、破裂、爆発
- 2 風災、電災、雪災
- 3 水災
- 4 電氣的・機械的事故 (EM)
- 5 車両・航空機の衝突
- 6 給排水設備の事故による水漏れ
- 7 労働争議
- 8 外部からの物体の落下、飛来等
- 9 盗難
- 10 上記以外の事故 ※詳細は別途資料を御覧ください。

保守メンテナンス

遠隔監視・定期点検…保守メンテナンス契約できらに安心



お引渡し完了後、丸喜(株)齋藤組がシステムの遠隔監視、保守メンテナンスを一括でお引き受けいたします。

- 1 遠隔監視
- 2 ドローンによる定期点検
- 3 動作不良時の現地調査対応
- 4 各種申請代行
- 5 その他

導入効果シミュレーション

単年効果

	基本料金	電気量料金	再エネ賦課金
導入前	2,720	10,070	1,947
導入後	2,720	8,935	1,776

電気代削減率 9%
 電気代削減額 1,306,000円/年

累計投資効果



投資回収 12年
 25年収支 17,239,000円

CO2排出削減量

単年削減量 26.8t/CO2

25年間累計削減量 670.3t/CO2

25年運用時の発電コスト (/kWh)

全発電分 ￥10.32

自家消費分 ￥12.13